

# 第88号 令和7年11月26日発行 山口県集落営農法人連携協議会(事務局:JA山口県) 集落営農法人だより



## 農業者団体と知事との意見交換会に出席しました。

令和7年8月20日(水)13:30より県庁「共用第1会議室」において、【山口県の農業をもっと元気にしたい!】をトークテーマに、農業者団体と知事との意見交換会が開催され、本協議会から仁多氏(百姓錬磨の会リーダー)が出席しました。(出席者24名)

村岡知事は、「地域農業の活性化、担い手の確保・育成や、それぞれの立場での実情や経験を踏まえた意見・提案を頂き、意見交換を通じて、県の農業施策に活かし、これからの山口県農業の発展に繋げていきたい。」と話されました。

仁多氏は、本協議会の概要及び、百姓錬磨の会活動についての説明を行いました。その中で、「若手就業者を増やし、百姓錬磨の会での活動を活発にしていき、候補者(リーダー)の育成に努めたい。」と発言がありました。



仁多氏(左端)、村岡知事(中央)

## 5県サミット事務局会議に参加しました。

令和7年10月2日(木)5県サミット事務局会議がメイン会場(高知県)と4県(広島・山口・島根・大分)をつなぐWEB方式で開催され、各県の集落法人等連絡協議会事務局・関係機関等が出席しました。

会議では、令和7年11月11日(火)に高知県高知市(三翠園)で開催予定の「5県(高知・広島・山口・島根・大分)集落法人等連絡協議会サミット」の開催内容・実施要領等について協議しました。本サミットは、5県及び他県での多様な取組について研修するとともに、情報の交換や交流を進める為に、平成24年より5県が持ち回りで開催しているものです。



## 第3回役員会を開催しました。

令和7年10月15日(水)山口県JAビル共用会議室4において、令和7年度第3回役員会を開催し、役員、地域法人協議会事務局、県、連合体、JA、県域事務局等30名が出席しました。協議・報告事項、情報提供等は、以下のとおりです。



## ○協議・報告事項

- (1) 集落営農法人における経営実態と今後の経営展開に関する調査について
- (2) 県農林水産部との意見交換会について
- (3) 集落営農法人 5 県サミットについて
- (4) 経営管理研究会（法人内部の資源点検）について
- (5) その他（やまぐち農業経営塾 2026 未定稿）

○情報提供（米作り王決定戦・知と技の拠点祭・担い手再編、発展に係る研究会）

## 担い手アグリサミットへ参加しました。

令和 7 年 10 月 22 日（水）、広島県において、担い手アグリサミットに参加しました。来場者が実際に見て・触れて、相談でき、最新の技術情報の発信をする場として開催し、環境への負荷を軽減した持続可能な農業の実現と「農業者の所得拡大」「農業生産の維持・拡充」を目指す為、「未来へつなぐ人と環境にやさしいサステナブル（持続可能な）農業」をテーマに 30 ブース以上の展示があり、セミナーや実演会等多数の催し物がありました。



## ソリマチ農業簿記研修会を開催しました。

開催日時：令和 7 年 10 月 30（木）、31 日（金）13：00～16：00

開催場所：サンフレッシュ山口「OA 研修室」

「ソリマチ農業簿記を活用した会計処理研修会（実務編）」を開催し、会員法人の会計担当者等 34 名が出席しました。（10/30：16 名 10/31：18 名）

研修会では、ソリマチ（株）北村瞭磨氏により、ソリマチシステムの仕分けの入力、集計・分析機能・決算処理、その他便利な機能などについてパソコンを活用し説明が行われました。法人参加者からは、ソリマチ農業簿記についての活発な質疑応答が行われ、たいへん有意義な研修会となりました。



## やまぐち農林業の知と技の拠点祭に参加しました。

開催日時：令和 7 年 11 月 3 日（祝）10：00～15：00

場所：山口県農林総合技術センター（防府市牟礼 10318）

「やまぐち農林業の知と技の拠点祭」が開催され、本協議会からは若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」の仁多リーダーをはじめメンバー 3 名と協議会事務局 5 名合わせて 9 名が参加しました。





拠点祭では、連携・交流館エリアで深川養鶏国産もも串を 800 本、販売しました。行列ができるほどの盛況で、10 時から販売を開始し 2 時間で完売しました。拠点祭を通じて、メンバーと事務局との連携・親睦を深めることができました。



## 山口県集落営農法人連携協議会と県農林水産部との意見交換会を開催しました。

令和 7 年 11 月 7 日（金）14：00 より、県庁漁業調整委員会室において、「山口県集落営農法人連携協議会と県農林水産部との意見交換会」を開催しました。

（出席者：県 11 名、協議会 20 名）

本協議会は、農業・農村を取り巻く情勢が一層厳しさを増す中、本県の農業中核経営体の太基を占める集落営農法人の果たす役割は極めて重要となっている。このため、集落営農に係るメインテーマ“持続可能な経営体を目指して”をもとに農林水産部との意見交換を行いました。



### ○意見交換内容（項目抜粋）

- ・スマート農業にかかる補助事業について
- ・学校給食への有機栽培、GAP 等の地場産食材について
- ・農業従事者の高齢化について
- ・除草対策での機械化体系について
- ・農業大学校の学生数の確保・増加や土地利用学科の入学増員について
- ・戦略作物交付金の維持継続と作付面積拡大の推進対策について
- ・農業用軽油免税措置の恒久化について
- ・農地集積の関する体制強化について
- ・法人間連携を前提とした 6 次産業化等、経営の多角化について
- ・鳥獣被害対策の補填について
- ・担い手の再編や統合にかかる連携調整等の支援について
- ・地域計画の実行、改善変更について
- ・農業経営支援センターの専門家派遣について
- ・中山間地域でのスマート農業対応機械や、機械の修繕費に対する補助について
- ・乾燥調製施設の早期更新及び増設について
- ・人材確保に向けた宣伝活動について
- ・米の高温耐性品種、MA 米の輸入廃止について
- ・令和 9 年度から根本的に見直される水田政策について

山口県農林水産部岡本部長は「法人経営の要である水稻や麦、園芸作物の安定生産や若い後継者の確保、育成、地域農業の維持発展に向けた法人間連携、統合への取り組みなど、生産現場における日々の活動を通じてご提言を頂き、大変参考となった。

県としては、本日頂いたご意見等について今後の施策にしっかり反映させるとともに、市町や関係団体とも連携しながら、今後も皆様方とともに山口県の持続可能な強い農業の育成に取り組んでまいりますので、引き続きお願いしたい。」と、話しました。



後列左から、弘中幹事、岡幹事、秋本幹事、森次幹事  
前列左から、上田幹事、野村会長、岡本部長、杉山副会長、山重監事

○ 山口県集落営農法人連携協議会 ホームページ

<https://www.y-syuurakueinou.jp>

※「山口県集落営農法人連携協議会」で検索

※右のQRコードから、スマホでご覧いただけます。



○ LINE公式アカウント

「山口県集落営農法人連携協議会」

※右記 QR コードからお友達登録できます！



○山口県集落営農法人連携協議会 ホームページ

若手就業者支援サイト「もりんちゅ」

<https://yamaguchi-syuurakueinou.jp>

※「もりんちゅ」で検索



山口県集落営農法人連携協議会事務局（JA山口県担い手支援対策部）

〒754-0002 山口市小郡下郷 2139 番地 JA山口県担い手支援対策部

電話：083-973-2224 F A X：083-902-2036